

西条の空、晴れたらいいね

総合科学部長 戸田吉信



爛漫の春、ここ西条キャンパスに新入生諸君を迎えることを喜び、心から歓迎する。諸君は本日から、広島大学の、総合科学部の重要な構成員の一員である。まずこのことを自覚し、誇りをもって、充実した学生生活を送っていただきたい。

大学は教官、職員、学生の三者によって構成される。私たち大学の研究者は、学生を育てるといふ一点で、官庁や企業の研究所また在野の学者と質的に異なっている。またそうでなければならぬ。縹渺とした学問の世界への、いわば水先案内人とも言えるようか。よき案内人に恵まれた者は、生涯幸福である。私たちは、みずからよき師に巡り会えたがゆえに、後輩に対してはよき導き手でありたいと思う。

入学当時、まだほんの子供に見えた学生たちも、遅く育って出ていく。頼もしく巣立っていく卒業生を送り出し、そしてまた新入生を迎える。一抹の淋しさから、新鮮な期待感。考えてみれば、三月末から四月初めは、大学の精神がもっともぴんと張っている時期である。

新装なったキャンパス、しかし君たちにとっても私たちにしても、まだまだ不便と困難はつきまとうと思う。ひとつ、ともに手をたずさえて、大学の魂を入れるという仕事をやっていこうではないか。大きく伸びよ、若木たちよ。

拝啓、西条一回生

総合科学部学生 南場千里



広島大学総合科学部に御入学おめでとう。今年からついに西条に移転することになるので、大変なこともあるかと思う。大学は、今までとは違い自分で勉強する場所である。ところが適当に勉強していても卒業しようと思えばできる場所にもなりうる。四年間何もせず過ごしてしまうことにならないようにがんばって頂きたい。

また忘れてはならないのは、大学は出会いの場所だということだ。全国各地からいろいろな価値や目的を持った人たちが集まってくる。大学内部にもおもしろい、個性的な(変なという意味も含む)先輩や教官方がうじゃうじゃしている。そんな方々と話さないのはもったいない訳で、理系・文系・世代構わず会って話して頂きたい。そしてサークル・バイトなども良い出会いの場所である。

最後に今年から西条が本キャンパスとなるが、校舎は新しいが何もない。開拓者精神で新しい歴史を作るチャンスでもある。頑張ろう。

(追伸、大学近くに食べる所がないから自炊に励んでください)



エネルギーセンター南より望む総合科学部